



志賀高原  
ユネスコ  
エコパーク

# 信州 たかやま議会

# 143号

2023年7月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会

快晴のもと、消防技術大会に替わる訓練と写生会が行われました。  
子ども達も消防車の絵を描いたり、消火体験をしたりと楽しんでいました。



**6月定例会開催** ..... 2-3

**一般質問** 9人の議員が登壇 ..... 4-8

- 保育行政について
- 地域のDX化の取組みについて
- 災害時の避難対応について
- 交通安全教育とシニアカー取り扱い理解向上について
- 雷滝トイレ整備と観光施設の冬季閉鎖について
- 公文書の保存と公開について
- 一般県道宮村湯田中停車場線について
- 村民ホールの利用推進を  
給付型奨学金の導入による

定住促進、人口減対策について 他

高山中学校3年生が議会を傍聴しました ... 9

「議会と村づくりを語る会」開催報告 ... 10-11

議会活性化特別委員会報告 ..... 12-13

常任委員会視察研修報告 ..... 14-15

わたしの声 ..... 16

**議会報告会「議会と村づくりを語る会」  
開催しました！**

たくさんの皆さんにご参加いただきました！  
村民の皆さんと課題を共有できる貴重な機会  
になりました！

# 物価高騰の影響を受けた低所得世帯支援金など 5087万1千円の追加予算

令和5年度予算総額 45億8405万円（補正後）

## 6月定例会

令和5年第2回6月定例会は6月1日から9日までの9日間の日程で開催されました。専決処分した条例の承認2件、専決予算の承認3件、農業委員の任命同意1件、財産の取得3件、条例改正2件、一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件があり、すべて原案通り可決されました。一般質問には9名の議員が登壇し、村政の課題などについて18件の質問をしました。

### 財産取得

#### ● 財産の取得

8t級除雪ドーザーの取得

冬期間の生活道路を確保のために必要な除雪ドーザーを取得します。



1,257万3千円

凍結防止剤散布・除排雪作業ダンプの取得

冬期間の生活道路を確保のために必要な凍結防止剤散布及び除排雪作業ダンプを取得します。



434万5千円

#### ● コンバインの取得

地域営農支援事業として麦や大豆の収穫をするためのコンバインを取得します。



838万2千円

### 同意

#### ● 農業委員会委員の任命

任期満了により、新たに14名の方々に任命する同意をしました。

任期は本年7月より3年間です。

梨本 律子（堀之内）  
小淵 一弥（水 中）  
西澤 堅治（久 保）  
東方巳治郎（荒井原）  
松本 修一（紫）  
黒岩 稔（二ツ石）  
黒岩 美信（牧）  
水橋 久人（榎 形）  
堀江繁太郎（中 原）  
篠原 豊（三 郷）  
藤沢 勉（宮 関）  
宮川 仁司（藤 平）  
小出 和美（荒井原）  
黒岩 由美（牧）

（敬称略）

議案に対する各議員の賛否結果(○賛成 / ●反対)

議案名	表決結果	久保田雄吉	勝山正弘	滝澤聖	梨本進	沖島祥介	高井央葉	黒岩清道	湯本辰雄	松本茂	山崎秀治	柴田弘男	西原澄夫
専決処分した条例の承認を求めることについて(村税条例の一部を改正する条例) 概要: 軽自動車税の本年3月末としていた臨時的軽減措置を本年12月末日まで9か月間延長する	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分した条例の承認を求めることについて(職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例) 概要: 新型コロナウイルス感染症に関する診察業務等を行う医師や看護師への特務手当を5月7日で廃止	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決予算の承認を求めることについて(令和4年度高山村一般会計補正予算(第8号)) 概要: 令和4年度の交付税等の確定による増額他	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決予算の承認を求めることについて(令和4年度高山村温泉開発事業特別会計補正予算(第5号)) 概要: 森林スポーツ公園温泉給湯事業源泉ポンプ故障のための修繕費として535万7千円を支出	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決予算の承認を求めることについて(令和5年度高山村一般会計補正予算(第1号)) 概要: 低所得子育て世帯生活支援特別給付金、新型コロナウイルスワクチン等接種体制確保事業等の増加	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員の任命につき同意を求める 概要: 新農業委員会委員として14名の方々の任命の同意の議決	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(除雪ドーザ)の取得 概要: 冬期間の生活道路を確保のために必要な除雪ドーザの取得に関する議決	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(凍結防止剤散布及び除排雪作業ダンプ)の取得 概要: 冬期間の生活道路を確保のために必要な凍結防止剤散布及び除排雪作業ダンプの取得に関する議決	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(コンバイン)の取得 概要: 地域営農支援事業として麦や大豆の収穫するためのコンバインの取得に関する議決	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村税条例の一部を改正する条例 概要: 森林環境税として個人住民税均等割と併せて1人年額1千円を徴収する	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
高山村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 概要: こども家庭庁新設に伴う一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度高山村一般会計補正予算(第2号) 概要: 物価高騰の影響を受け住民税非課税世帯に対する国の地方創生臨時交付金による低所得世帯支援金や新型コロナウイルスワクチン等接種事業のための増額他	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
令和5年度高山村温泉開発事業特別会計補正予算(第1号) 概要: 奥山田温泉の起債元金の繰り上げ償還のための増額	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
令和5年度高山村上水道事業会計補正予算(第1号) 概要: 建設改良費及び久保水中間配水管布設工事の設計と資材高騰による増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める陳情書 概要: 陳情者＝長野県教職員組合 高山単組 付託委員会＝総務文教常任委員会	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」採択を求める陳情書 概要: 陳情者＝長野県教職員組合 高山単組 付託委員会＝総務文教常任委員会	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書 概要: どの子にもゆきとどいた教育をするために、さらなる少人数学級推進と教育予算の増額と複式学級の学級定員の引き下げ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書 概要: 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元するなどの拡充	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案に使われる用語のこと

【専決処分】

地方公共団体の議会の権限に属する事項を、所定の要件の下で、その地方公共団体の長が議会の議決を経ることなく決することのできる処分のこと。

【地方債(起債)】

地方公共団体の債務で、償還までが一般会計年度を超えるものをさす。また地方公共団体が、財政資金や事業資金を調達するために債券を発行することを起債という。

【繰上償還】

借り入れた地方債の全部または一部を、返済する期限を繰り上げて返済すること。



議会の『』知ってますか？

# 一般質問

って何？



議会の役割は、議会に提出された議案等を審議して、その可否を判断するだけでなく、執行機関である村に対して監視機能を持っているので、村が行うことに対して質問を行い、村の見解などを求めることが出来ます。これを**一般質問**と言います。

一般質問は定例会でのみ行うことが可能です。議員は定例会の開会1週間以上前に、村に対して自分の質問の意向を告げる「通告書」を提出する必要があります。村は、提出された通告書に沿って答弁します。

高山村議会の一般質問は、議員一人あたり60分を目安に行うこととされています。また再質問は2回までとすることが決められています。議員は答弁を聞きながら、さらに質問を考え、再質問を行っています。

## 二次元コード

最近、議会報の一般質問ページで、議員の顔写真の横に二次元コードが付くようになりました。読み込んでいただくと、各議員の一般質問のYouTubeページが表示されますので、お時間のある時にご覧ください。



→こちらの二次元コードからは村HPで、各議員の通告書も一緒にご覧いただけます。



## 山崎 秀治 議員



### 入学祝い金の増額で、保護者負担のカバーを

**問** 学校の納入金以外にも、保護者には、制服やカバンなどが必要となり家計に重い負担がある。当面入学祝い金を1万円から大幅に増額して保護者負担をカバーすべきでないか。

**村長** 教育にかかると費用は、決して安くはないと認識している。子育て支援は、一つのものに特化することなく総合的な視野に立って考えていくべきと思う。次年度では、給食費の無償化に向けて検討していく。入学祝い金の増額は難しい。

### 「育休退園」はなくして安心の保育行政に

**問** 1月に厚労省から「保育所で使用済みおむつの処分を行うことを推奨する」とした事務連絡が出されている。村の受け止めと、今後の方向性を問う。

下の子供が生まれ、育児休業を取得すると、家庭で保育が可能とみなされ、保育施設に通う子どもが退園させられる「育休退園」がある。村はどう対応し

ているか。これまでに「育休退園」の例はあるか。「育休退園」はやめるべきでないか。

**教育次長** 使用済みおむつは、保護者に持ち帰っていた。保育園で処理するためにはいくつか課題があるので、整理をし、前向きに検討していく。国の原則的な考えのもと進めていて、保護者の健康状態を聞き取り、生後3か月を目安に一時退園をお願いしている。令和4年度で1名の「育休退園」があった。個々の家庭の実情により、適切に対応していく。

### 水道料金の減免延長を

**問** 水道基本料金の減免は、期間が半年間と短い事、金額が1か月350円(消費税別)と少額なので期間の延長を求めたい。さらに、下水道の基本料金についての減免を求める。

#### 村長

物価高騰で村民が大きな影響を受けており、経済情勢の推移や県内自治体の動向などを注視し適切に対応していく。

下水道に接続していない世帯や、合併処理浄化槽で対応の世帯があり、下水道料金の減免は難しい。

勝山 正弘 議員



地域のDX化の取組みについて

**問** 総務課に「企画政策係」を設置、今年民間企業2社と、より専門性のある計画作成の為に、包括連携協定

を提携した。

① 村民に対する利便性の向上としての具体化とその実施時期はいつか？

② 行政事務の効率化として考えられる効果は？

③ 産学官の連携が当村は近隣の市町村に比べ実施できていない。信州大学や国立高専等の連携はする予定がないのか？

④ 当村の貴重な一般財源を安易的な使用（新しい補助金の存在の見逃しや、補助金の申請忘れ）防止のため、国や県、他市町村との情報共有化はできないのか？

総務課長

① マイナンバーカードを活用した行政手続きや他の業務のオンライン化のシステムを構築中で、DX計画策定の完了は5年を予定しています。

② IT技術を活用してデジタル化する事で事務処理時間の短縮が可能になります。

③ 包括連携協定の中で協議して参ります。  
④ 各担当係長は、日々メールチェックを責任もって行っており、すべての職員が確認できる仕組みとなっています。

道の駅(にぎわいの場)設置について

**問** 道の駅は、全国で1,204駅、長野県でもすでに53駅が設置され、どの道の駅も賑わっているが、当村の場合、設置計画が進んでいない。開発行為は時間がかかるので早期着手を希望する。検討だけでは、機を逸するのではないか？

村長

村としては既存の施設をできるだけだけ活用して、順次構想を実現して参りたいと考えております。



柴田 弘男 議員



災害時の避難対応について

**答** 一時的な避難を限定に、自家用車等含めた対応も検討していく必要があると考えております。

**問** 令和元年の台風19号災害は、記録的な豪雨により

一日の雨量が285ミリという大雨になり、本村でも初の避難勧告から避難指示を発令され、避難をした。台風が過ぎ去った後、職員や自主防災会の区長さんの意見・要望等の「災害対応検証報告書」を作成されたが、

① その後見直しはされたのか。  
② 防災訓練における内容等、自主防災会では他にはないのか。

③ 自治会の災害時対応マニュアルについて。

総務課長

① 検証等を行う中で、実際に避難が必要な土砂災害の危険区域、イエローゾーンやレッドゾーンの世帯を洗い出し、地区内の組単位等で避難情報を発令し、一時的な避難を自家用車等で、改善を図りたい。

② 大規模災害は、教訓として行政機関は迅速な救助や早期復興をめざした「公助」だけ

では災害対応に限界があるので自分の身は自分で守る「自助」、地域の住民が互いに協力し合い活動に取り組む「共助」が不可欠である。

③ ハザードマップの中に地区の特性や避難経路、自主避難のタイミング等を定めた「地区防災マップ」を作成する。



不動川豪雨災害による工事完了。



千本松豪雨災害工事。

滝澤 聖 議員



交通安全教育とシニアカーについて

**問** 本村のシニアカーの保有台数と普及状況について。

健康福祉課長

村では平成4年に在宅老人等福祉機器補助金交付要綱を制定し、在宅高齢者や障がい者の自立支援のため、生活上支援するため購入経費に対し、一定の所得制限を設け助成している。令和4年度までに一〇〇台ありま

すが、すでに亡くなられた方もあり、現在は28台程度と思われる。助成事業で購入された車いすの多くは、亡くなられた方には、譲渡又は廃棄されたかどうかは把握できず、また、補助対象とならなかった方の台数についても、正確な保有台数を把握することは難しい。

**問** 購入支援の拡充について、交付要綱の所得制限の撤廃と一人一台の要綱の見直しを行い、少額であっても補助金を出すことを要望したいが検討されたい。

健康福祉課長

購入者の経済的負担や初期



投資に係る負担軽減を目的としています。公平性や他の補助金等との均衡を考慮し、一人1度限りの助成制度としています。

**問** 中・高学生、一般村民を対象としたシニアカーの操作方法や交通安全教育への取組みについて。

健康福祉課長

村では助成金申請される際に注意点の説明を行い、販売店においても操作方法と併せ、交通ルールのマナーに関する説明を行っていたいています。村交通安全協会など関係者の皆様と講習会を開催できるかどうかを含め検討したいです。

梨本 進 議員



子ども達に「村出身古川雄大さん主演のミュージカル・ピカレスク」の劇場鑑賞を

**問** テレビドラマや映画、舞台上活躍中の、高山村出身俳優の古川雄大さん主演

のミュージカルが、来年二月

地元ホクト文化ホールで公演される。地元出身者の活躍は明るい話題であり応援したい。ぜひこの機会に子ども達に生で迫力あるミュージカルを体感してもらいたい。感受性を育み、未来への夢や希望などその教育的効果も大きいと思う。中学全生徒の劇場鑑賞の計画を求める。

教育長

村出身の俳優古川雄大氏の活躍を、子ども達が間近に触れることは大変魅力あること。村の出身であり、先輩が社会で活躍することは、誇りであり大きな励みである。村の活性化になることで出来る範囲で応援したい。公演日程や詳細は未発表だが、二月は高校受験の時期で日程的や予算的にも難しい。今後の支援を慎重に検討して参りたい。

**問** 雷滝トイレ整備と観光施設

雷滝トイレ整備と観光施設の冬季閉鎖について

産業振興課長

雷滝周辺の県道拡幅にあたり駐車場や公衆トイレ用地の確保を要望している。衛生的な仮設型の水洗トイレ設置を検討したい。春先の村内観光については、桜まつり実行委員会や施設管理の地場産組合などと事前協議している。雷滝は定点杭測量などの安全基準を設けて安全確認の上、冬季閉鎖解除を判断している。観光協会との情報共有や連携については、事務局長に副参事を配置し、観光公式HPの更新や観光振興の取組み協議や情報共有を図っている。



現在のトイレ。

### 湯本 辰雄 議員



#### 公文書の保存と管理は

**問** 県内に公文書館や文書館がある。上田地域では、「資料散逸への危機感や、地域研究のため」に設置

私は集会の第1回の開催案内を請求したが不明でした。

①公文書の保存管理の現状。  
②デジタル化と文書管理の制度化を。

#### 総務課長

①通常は書類保管庫で保存。村誌編纂資料は施設内です。  
②書類のデータ化は課題。今年には190万円で文書のデジタル化をはかる。  
③何年後には村誌編纂しなければならぬので、残していく文書を選択しなければならぬ。



昭和時代の公民館報。

#### 子供医療費完全無料に

**問** 村長は「子育て施策は総合的な判断をしながら行ってきた。子供医療費の手数料500円負担は理解していただいている」とした。

県内では19市町村が子供医療費を完全無料化した。村の昨年の子供医療費利用数は1万件程、予算約500万円。手数料500円の廃止を。

#### 村長

福祉サービスの受益と負担の関係を、共に支え合う一員であることを自覚していただく、医療費の一部負担の趣旨は、「適当である」と理解してもらっていると考えます。子育て世帯への経済的支援は重要課題ですので、国の動向を見ながら進めます。

### 黒岩 清道 議員



#### アピランスケア助成はいつから

**問** がん治療などにより、アピランス(外見)の変化による苦痛を軽減するケアのことで、治療中の外見の変化で、悩む人も多いと聞きます。

①今まで、相談はあったのか。また、プライバシーに対応した窓口対応は。  
②県でも対応していると思いますが、高山村での助成事業は、いつからか。

#### 村長

①これまで、相談は寄せられておりませんが、必要とされる方は、医療機関等に相談されていると思われる。村に相談が寄せられた場合は、プライバシーに配慮し、相談者に寄り添った対応を心がけて参ります。  
②村におきましては、がん治療やその副作用でお悩みの方の負担軽減を図ることは大変重要な事であり、早急に対応して参りたい。

#### 一般県道 宮村湯田中停車場線開通は

**問** 県道342号線は、中野市と山ノ内町を結ぶ歴史ある道路であります。しかし、小池峠付近は交通不能になっており、昭和41年から宮村湯田中停車場線改良期成同盟会が発足し半世紀が過ぎます。

そこで、現状と開通はいつになるのか。また、山ノ内町でも要望の動きがありますが、村としての考えは。

#### 建設水道課長

県道を管理する県建設部にお聞きしましたところ、山岳地形のため、大規模な道路整備となることや、緊急性等を含め総合的に勘案すると、当面は事業化が困難である旨の回答をいただいております。村と致しましては、地域の活性化に繋がる有益な広域観光ルートであるものと考えておりますので、引き続き近隣市町村と重要性を強調しながら、強く要望して参りたい。



高井 央葉 議員



高山村独自の子育て支援を

**問** 現在村に住んでいる子ども達が安心して暮らし続けられ、また移住定住が増えるような施策として「就業条件を問わない保育園の入園」「学校以外の居場所の支援」「高校生の支援」について問う。

**村長** 村では、次世代を担う子ども達の健やかな成長と安心して子育てできる環境づくりを総合的に推進していかなければならないものと考えている。就業条件を問わない保育園入園については国において2024年から開始すると表明されているため村が先行して行うことは考えていない。不登校の子ども達については村や、小中学校において、関係者間で情報を共有し、いろんな機関などの協力をいただきながら対応策等を検討している。高校生全員に一律に経済的な支援を行うことは現時点では考えていないが、今後何が出来るのかなどを慎重に検討して参りたい。

村民ホールの利用推進を

**問** リニューアルした村民ホールを普段からもっと利用してもらえようという工夫とPRが必要と考える。積極的に利用してもらったための方策は。

**総務課長** 村民ホールは役場の開庁時間内で自由にご利用いただけるが、イベントスペースのようない方は想定していません。今後とも有効に利用していただければ、啓発等に努めて参りたい。

行政サービスにおけるIT技術活用を

**問** 村としてIT技術を、どう行政サービスに活かしているのか。

**総務課長** 村ではDX推進を図るため、民間事業者2社と締結した包括連携協定の中で、何かできるのか、何をしなければならぬのか等と洗い出し、IT技術を活用した行政サービス向上について協議している。

沖島 祥介 議員



給付型奨学金制度の導入による定住促進、人口減対策について

**問** 本村には、新規就農者支援制度があり、これは農業に限っているが、もっと幅広く、

**答** 村には、新規就農者支援制度があり、これは農業に限っているが、もっと幅広く、職を持たれ、村内に定住した方を対象に、貸与型制度から給付型にし、返済を免除する制度にすれば、何割かの方が戻って来て、定住促進、人口減対策になるのでは？

**教育長** 定住による奨学金の給付は、少しでも定住のための背中を押すような支援になると期待できるが、新規就農者支援制度とは本質が異なり、様々な設定のあり方が課題であり、さらに、奨学金を借りる方、借りない方の公平性の面から見ても慎重に検討していく必要があると考える。

**問** 村の奨学金制度の利用状況は？

**答** 高校生2名、高等専門学校生3名、短大生4名、大学生53名の計62名。償還が滞っている方はいない。

**問** 奨学金制度における所得制限について。

**答** 所得制限は設けていない。  
**問** 新規就農者支援制度の利用状況は？  
**答** H22年度に創設したが、現在利用者はいない。

インバウンド観光に対応した、村内に統一した観光表示板設置について

**問** 道路標識には日本語の下にローマ字で標記されているが、観光地には外国語を標記した観光表示板がないので、観光表示板の設置を望む。

**産業振興課長** 観光協会など関係者と協議し、近隣町村の状況などを参考にし、主要な観光施設などから、順次ローマ字併用標記の標識を整備していきたいと考える。



村の奨学金制度の案内。



# 6月6日の一般質問を 高山中学校3年生が傍聴しました

高山中学校3年生の議会一般質問の傍聴は3年目となります。  
短い時間でしたが、議場の雰囲気や、行政側と議員とのやり取りを見てもらえました。  
ありがとうございました。

質問をして答えることを1回だけでなく、答えに対して何度も質問していた。そうやって何度もできるのがすごいと思った。

ものすごく緊張感がありました。

(質問の内容は)他の市町村と比較したものだ。 (回答の内容から)村民の負担を少しでも減らせるように、村も工夫していることがわかった。

相手が話し終わってから話すことや、相手の回答に対して礼をするなど、相手に対する敬意が素晴らしく、見習いたいと思った。

議員さんは、とても詳しく調べて質問をされていた。〇〇市ではなどと具体的に述べていた。答える方も、すぐに手を挙げて質問に答えていてすごかった。

しっかり議論されていて、村民として安心しました。だから自分たちも村のために協力したいと思いました。

難しい話もあったけど、高山村の今後や、村民のために議論がされていてすごいなと思いました。

大人の姿がかっこよく見えた。(いつもと違う姿がかっこよかった。)





5月14日(日) 午後2時～  
第1ブロック  
西部地区転作促進センター(堀之内)にて  
参加者31名

# 『村づくりを語る会』

議会を身近に感じてもらうための、初めての試みとして議会報告会「議会と村づくりを語る会」を行いました。

トークテーマを『子育て支援について』、『地域の課題について』として、村民のみなさんの困りごと、やって欲しいことなどを自由に発言して頂き、メモ用紙に記入して張り出し、参加者で共有しました。どちらの会場もたくさんの方にお越しいただき、活発に意見を出していただくことが出来ました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

## 第1ブロックでは

- 女性の参加、出席が難しい
- 地域を担う若者の参加が難しい(忙しい、興味がない)
- 神楽保存会の新規団員、担い手の不足
- 子どもだけで遊べる場所がない
- 子どもの同級生がいない
- 高校生の交通手段がない
- 長野駅までのバス、中野方面のスクールバスが欲しい
- 地域ぐるみで子育てできると良いな
- 空き家対策、近くに空き家があって鳥獣や火災が心配
- 子どもを産む世代が魅力ある地域にして欲しい
- 農業の近代化、ドローン利用で盗みや害獣対策など
- 入区金の免除、入区金の必要性がわからない
- 子ども、移住者を増やす
- 若者住宅(低家賃)を各地区に造る
- 温泉や一茶館など、客数を増やす取組みが行えていない
- 農業の後継者育成
- なんで子どもが家を出ていくのか
- 条件なしで保育園へ入れるように
- 空き家バンクをもっとアピールしてほしい
- ゴミ選別した後どうなっているかケーブルTVなどでアピールして
- 救急車が入れない道、心配
- 村ならではの子育て体制やイベントなどがあると良い
- 体育館の予約など、アプリで行えるようにして欲しい
- 山田牧場行きたいが、道が怖い

などのご意見をいただきました。





5月21日(日) 午後2時～  
第4ブロック  
中山会館にて  
参加者 29名

# 議会報告会 『議会と』

## 第4ブロックでは

- 子どもが少なく、通学班編成やいろんな行事が出来ない
- 働く場所をつくる、企業誘致を行う
- 県道を通行する車の速度出し過ぎ問題
- 一茶館のさらなる利用、子ども達が勉強出来たり、図書館併設など
- 農産物出荷場、野菜の直売所（YOU遊ランドあたり）欲しい
- 役場ロビーきれいになったので、気軽に使用できるように
- 広い図書館が欲しい
- YOU遊ランドにデイキャンプorキャンプエリア欲しい
- 村の情報メールで届くように欲しい、公式LINE
- 小学校の通学不便、学年が上がるほどバスの時間合わない
- 放課後や長期休業中に子どもが自由に行ける場所が欲しい
- 中学校の制服が高い
- 役場職員の仕事の見直し
- 入区費が高すぎて家を建てようと思えない
- 子ども達が大人や高齢者と交流して価値観の多様性を学べる機会が欲しい
- 通学手段の確保が困難ではないか
- 不審者、サル、自殺対策等のために防犯カメラをつけて欲しい
- 高齢化が進み、電柵の管理が出来ない、村でやって欲しい
- 村営住宅を増やす
- 独身の人が入れる移住住宅（シェアハウスでも良い）が欲しい
- 粗大ごみの回収を増やして欲しい、空き家のゴミ出し等  
などのご意見をいただきました。

お寄せ頂いたご意見のすべては、議会HPでご覧いただけます。下記二次元コードを読み込むかスマホもしくはPC等で「高山村議会報告会」と検索してください。お時間のある時にご覧いただけると幸いです。頂いたご意見は議員全員で共有し、今後の議会及び議員活動に活用させていただきます。

秋には、残りの3ブロックの会場での開催を予定しております。その際は改めてお知らせいたします。よろしくお願ひします。



# 信濃町議会活性化委員会視察受入れ



6月20日に信濃町議会より、議会活性化特別委員会分科会の皆さんが来村されました。

高山村議会からは議長と議会活性化特別委員会役員で対応させていただき、議会活性化特別委員会として行ってきたこれまでの取組みについて説明をさせていただいた後、5月21日に中山会館で開催した議会報告会「議会と村づくりを語る会」を見ていただいた感想などを伺いながら、本議会で報告会を開催するに至った経緯や周知の方法、開催の仕方などについて、大きく時間を割いて意見交換を行いました。

近年、議会報告会を開催する議会は増えていますが、目的や、方法、開催した後についてはどの議会でも模索しているところですが、本議会でも2回の議会報告会を開催してみ、改善する点や、次回も引き続きやってみようという点などについて、話をする点などで再確認することが出来ました。また、信濃町議会の取り組みなども直接お話を伺うことができ、大変ありがたい機会となりました。今後の活動に活かしてまいります。



今期の高山村議会活性化特別委員会では、「村民と議会の距離を縮め、多様な人が立候補することを目指す委員会」として活動していきます。議員や議会がどんなことをしているかということとを、広くたくさんの方々に知っていただき、村民の皆さんと議員とが一緒に、村の課題に向き合っていくことを考えております。そういった点では、新しい議会モニター活動には一層の期待をしているところであります。昨年の一般質問のYouTube配信に加え、4月より議会のSNS発信も始めました。よりたくさんの方に情報が届くようにしていきますので、ご覧ください。

(議会活性化特別委員会委員長

柴田弘男)



# 令和5、6年度 議会モニターが決まりました



議会活性化特別委員会では、議会の見える化を目指して、令和5年度と6年度に活動していただける17名のモニターさんを決定させて頂きました。女性が少し多いですが、男女のバランスも良く、年齢も高校生から70代まで様々な方にご応募いただきました。

村民の方に議会とはどんなことをしているのかを知っていただき、高山村をより良い村、住みやすい村、子育てしやすい村にするにはどうしたら良いかについて、また議会が抱える問題なども議員と一緒に考えて頂くことが主な活動となります。

これから、どうぞよろしくをお願いします。

## 第1回議会モニター会議を開催しました

令和5年7月9日(日)



7月9日(日)、新しいモニターの皆さんにお集まりいただき、第1回のモニター会議を開催しました。

1回目ということで、まずは議会で使っている役場庁舎3階にて、議場や委員会室、全員協議室などを見学していただきました。その後、議会制度の説明と議会モニター制度の説明と今後の活動について話を聞いていただきました。

今回は説明ばかりになってしまいました。議会のことを知っていただき、今後、議会が抱える課題について一緒に考えていただきます。

### 感想

- 皆さん議会について考えているんだなと感じた。
- このような会議に出るのが初めてで勝手が分からなかった。これからいろいろ知っていききたい。
- 今回は話だけだったのので、これから提案事項を作ったり、出したりしていきたい。



# 員会合同視察研修レポート

## 舟橋村 子育て支援策

### 「奇跡の村」

富山県舟橋村は、北陸にたった一つ残る「村」で、面積が3・47km<sup>2</sup>と日本一小さな自治体です。富山平野のほぼ中央に位置し、村の中心部には小中学校や役場等が揃っており、コンパクトな地域を形成しています。

舟橋村は、昭和後期頃に人口が約1,500人、子どもの数も1桁となり、人口構造の維持が課題となっていました。そこで、開発の障害となっていた市街化調整区域を全国で初めて外したことで、立地の良さによってベッドタウンとしての住宅開発が進み、人口は右肩上がりに増えて、現在では約3,200人となり、「奇跡の村」と呼ばれています。村中心部のオレンジパークには隣接して地域優良賃貸住宅（リラフオートふなはし）が移住を促進する試みで整備され、日本一小さい村は日本一快適な住環境の実現にも取り組んでいます。

（久保田雄吉）



リラフオートふなはしとオレンジパーク。

## オレンジパーク

### 「京坪川河川公園」

（通称 オレンジ・パークふなはし）



ひとりじゃ遊べない水遊び場やひみつきち。

約3haの面積を誇る公園で、展望の開けた芝生広場は村民の憩いの場になっています。1kmにわたる桜並木も見事です。オレンジパークはイベント開催時だけ人が集まることを目指すのではなく、日常的に多くの人々が滞在する公園を目指しているのです。そのため人に巻き込むような活動を行っているそうです。

造園業者がプロポーザルにおいて事業者の選定を受け、その後NPO法人として、「こども公園部長」の募集など、子どもが主役の公園づくりを行っています。クラウドファンディングを活用して作った「ひとりじゃ遊べない水遊び場」や「ひみつきち」など、子ども自らが関わって作る公園は、関わる楽しさと愛着が生まれる公園です。

（滝澤聖）

## 駅中図書館

### 「駅に図書館を整備した経緯」

舟橋村は昭和50年代から村人口が減少。また、公共交通の要である越中舟橋村駅の乗降客も減少傾向にありました。「駅周辺は村の顔」そこを良くしないと村の発展はないという当時の村長の発案の元、平成元年に富山地方鉄道株式会社と連携し、「舟橋駅舎等駅前整備検討委員会」設置。そして、パーク&ライド方式（公共交通機関の停留所に車などを止め、電車などに乗り換えて目的地に行く方法が採用されました。徐々に駐車場を整備し、現在は250台が駐車可能で、駐車場利用の8割以上が村外の住民で、冬季の安定した交通手段としても人気が高いです。そして、駅に足を止めてもらうため図書館を併設。日本一小さい村だが、本の貸し出し冊数（住民一人当たりの貸出冊数は年間26・2冊）は日本一を誇っています。コンセプトとして①滞在型図書館②情報発信基地としての図書館③広域利用サービスをあげています。

（沖島祥介）



駅中図書館の外観。



広く明るい図書館の内観。

# 総務文教・福祉産建常任委

議会常任委員会合同視察研修として、富山県に行ってきました。  
子育て施策、図書館については舟橋村にて、公共交通については朝日町にて、  
先進的な取組みを詳しくお話いただきました。今後の活動に活かしていきます。

朝日町

公共交通施策

本村と同じように自家用車依存が顕著である朝日町では、これまでも「車がなくても安心」となるように交通モードを構築してきました。小型バス1台、ハイエース2台を町で取得し運行を委託している『あさひまちバス』は平日のみの運行で1回200円、バス路線上の安全な場所であれば自由に乗降りが出来る自由乗降制を採用し、鉄道のダイヤ改正に合わせて毎年見直しを行う町民の主な足として運行されており、これを中心に、新幹線全便に接続する『あさひまちエクスプレス』、富山駅まで出られる『あの風とやま鉄道』、そして『黒東タクシー』が連携しています。その上で、商業施設や医療施設は人口密集地である街中心部に集中して、



朝日町は翡翠でも有名です。役場庁舎入口に大きな翡翠が展示されていました。

中心部から離れた各地区の住民生活にはさらなる移動サービスの充足が必要であることに向き合い、そのための課題を洗い出し、その解決に向けて、町が出来ること、民間業者にやってもらえることを整理し、「町民にいかにかに本気になってもらえるか」ということ、そして今現在ある良いものに足りない部分を補完してもらうということに着目して、他にはない新しい公共交通の形を模索していました。

(高井央葉)



町民参加を呼び掛けるパンフレット他  
朝日町町長から直接お話を伺わせていただきました。



## 今回の視察研修を通じて

東京ディズニーランド7個分という全国最小の舟橋村は、人口が倍増し、転入者の多くが子育て世代ということもあり、村の平均年齢も若く活気溢れる一方で、住民の半数以上が転入者となったことから、新旧住民の融和が不可欠な状況にあります。これを踏まえ、オレンジ・パークを拡張し、隣接する認定こども園、及び子育て賃貸住宅を建設し、人と人とのゆるやかなつながりのなかで安心して子育てをすることのできるエリアを整備したり、駅舎と一体となっている村立図書館は、村内外問わず多くの方に愛されていたり、子育て支援センターの登録者数は、現在では750名以上、その8割以上を村外利用者が占めているなど、舟橋村の「奇跡」から見えてくるヒントは、自治体の行動力と柔軟性、若者の声を・地域の声を聞き、垣根を越えてタックを組む輪が必要ではと感じました。

(総務文教常任委員長 黒岩清道)

朝日町の公共交通体系は「誰のための公共交通なのか」という視点が常にあり、「乗ってもらうためには利便性を高めること」を大切にしていると伺いました。公共交通は不便だけれど、それを変更するのは容易ではないということも良く耳にしますが、本当にそうでしょうか？「乗らない」のではなく「乗れない」という声を村内でたくさん聞きます。高山村の公共交通の利便性はどうしたら高まるでしょうか。みんなで考えていく必要性を強く感じました。

(福祉産建常任委員長 高井央葉)

# わたしの声

## ☆ 第81期将棋名人戦を

## 終えて ☆



山田温泉区

緑霧山宿 藤井荘

女将 藤沢 晃子

このたびは第81期将棋名人戦第五局開催の場として、ご尽力頂きました村長様はじめ役場職員並びに名人戦実行委員会の皆様、そして村内外の事業者様、応援頂きました皆様に心より御礼申し上げます。

第五局は熱戦が繰り広げられ、藤井聡太新名人誕生と歴史を塗り替える偉業に立ち会えましたこと、その対局が、この小さな村で繰り広げ

られたことが未だ夢の中の出来事のように思えます。

東京から高山村に嫁いで30年が経ちます。信州高山村をなんとか知らしめたいと思ひ、様々な取組みを行って参りました。

今回の対局が歴史的大一番に当たった事が話題となり、美しい村、信州高山村をメディアで沢山取り上げて頂き、皆様に認知して頂けるきっかけとなりましたこと、

何より嬉しく感謝申し上げます。

これはひとえに村民の皆様への御協力、応援無くしては達成出来ることではございません。

未だ止まぬ全国から沢山の皆様の温かいお声に、深く感謝申し上げます。

そしてこれを機に全国の皆様に【美しい村、信州高山村】へ足を運んで頂けますよう、今後も更に邁進して参ります。

何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



## 編集後記

今年は梅雨前から異常な暑さで、これからの夏本番が心配になります。

あついといえば、名人戦により、高山村が全国的に熱い視線を浴びました。

議会でも4年ぶりに県外視察に行きましたが、視察先では名人戦の話から始まるほどでした。今回は北陸

地方で、先進的に活動をしている2つの自治体を視察しましたが、首長自ら説明を頂いたことに驚きを感じました。さて、今週末には4年ぶりの高山まつりの開催です。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日より緩和され、多くの行事がコロナ禍前へと戻ろうとしています。まだ感染予防が必要な面もありますが、地域の活性化には、人との繋がりがコミュニケーションが必要だと思ひます。秋には村民体育祭も開催されます。人の流れが生まれ、活気ある村に、明るい村にと願ひます。(黒石清道)

### 発行責任者

議長 西原 澄夫

### 議会報編集特別委員会

委員長 黒石 清道

副委員長 久保田 雄吉

委員 柴田 弘男

委員 松本 茂

委員 沖島 祥介

委員 滝澤 聖

発行 / 長野県高山村議会  
編集 / 議会報編集特別委員会  
TEL (026) 214-9763  
印刷 / ㈱オフセット